

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2392200370		
法人名	ステラリンク株式会社		
事業所名	グループホームたんぼぼ今伊勢		
所在地	愛知県一宮市今伊勢町新神戸字九反野18-1		
自己評価作成日	平成27年 3月 1日	評価結果市町村受理日	平成27年 7月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/23/index.php?action=kouhvu_detail_2014_022_kani=true&amp;JiyosyoCd=2392200370-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/23/index.php?action=kouhvu_detail_2014_022_kani=true&amp;JiyosyoCd=2392200370-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社 中部評価センター		
所在地	愛知県名古屋市長区左京山104番地 加福ビル左京山1F		
訪問調査日	平成27年 3月20日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

人が輝くを理念とし、申し送り時には行動規範を復唱して、明るい雰囲気づくりに取り組んでおります。  
 また認知症を患っても住み慣れた土地で、地域の一員としての関係を断ち切ることなく、馴染みの関係を築けるようスタッフが支援しながら、介助者としてではなく共に生活を行うパートナーとしての関係づくりに努めています。  
 人生現役を目標とし、施設通貨シードを活用しながら人の役に立つ喜び、社会の一員として現役であるなど人としての尊厳についても力を入れて取り組んでおります。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

管理者が交代したが、理念を継承し「地域で助けながら、補いながら、普通の暮らし」を追求している。一人ひとりの個性や生活リズムを尊重し理念である「人が輝く」支援を熱意をもって取り組んでいる。  
 施設内通貨(お仕事シード)を利用し、ホーム内でシードを支払って駄菓子屋「たんぼぼ」で買い物をし、ホーム内貯金をする等社会的な役割の継続を推し進めている。クリーンキーパーの仕事をしている利用者に表彰状を出す等、個々の役割を評価する工夫もある。  
 前年度指摘をされた介護計画についても、利用者の思いや意向に着目した介護計画書の作成を目指し動き始めている。利用者が輝き、ホームが輝くために何事にも前向きに取り組んでいる明るいホームである。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	申し送り後に理念を復唱している。 新人スタッフにも行動規範カード等を渡し理念への思いを伝えている。	理念である「人が輝く」を玄関に掲示し、毎朝夕行動規範とともに唱和を行っている。また、半年ごとの研修では理念について話し合い、職員の意識共有の機会としている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会様にも参加していただくイベントの企画・実施。また町内の資源ごみ回収への参加させていただいております。	子ども会の会合や縄跳び大会等、地域の催し物の場としてホームを提供している。ポストティングでバーベキュー大会を告知したところ、町内会が手伝うなど交流を深めている。	保育園等社会資源の活用や認知症についての情報発信等、地域との交流の輪が広がっていくことに期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議への地域の方々への参加要請。 当施設での認知症への取り組み、それを通じての理解を求めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて行事報告・事故報告、目標計画の達成度報告より地域の代表様・地域包括様よりご意見をいただきミーティングにて伝達させていただいております。	年6回の開催に地域包括支援センター、町内会長、利用者、家族が参加している。今期から民生委員が参加しているが、会議内で地域の課題に対応したことがつながりのきっかけとなっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を通して、地域包括様・民生児童委員様に参加していただき、活動報告を行い当施設での取り組みについて理解を求めながら、よりよい協力関係が築けるよう努めさせていただいております。	運営推進会議では地域包括支援センター職員が出席しており、適宜ホームの情報は市に伝わっている。担当職員とは何時でも相談できる体制が構築されている。	地域包括支援センターとの協働でホームが地域に活かされることに期待したい。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除宣言し、掲示させていただいております。またすべてのお客様に対して誠意をもって対応し、身体拘束をしないケアを実践しております。今後は勉強会・研修会等に積極的に参加していきたいと思っております。	「身体拘束ゼロ宣言」をし、身体的なことだけでなく言葉の拘束にも注意を払っている。また、利用者の自由と安全について常に話し合いをしている。契約時にリスクについても家族に説明し、了解を得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	地域包括高齢者虐待の研修会への参加から、スタッフミーティング等での全スタッフへの周知に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内外部の研修や勉強会へ参加し理解する機会を設けていきたいと思っております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には事前面接を行い、ご家族様が今後の入居者様の生活に対して、疑問・不安の把握に努めてご説明させていただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の来設時にもご意見・ご要望が言いやすい雰囲気作りに努めています。お客様感謝祭(家族会)でのアンケート調査。またご家族代表として運営推進会議にも参加して頂いております。	感謝祭(家族会)では利用者の暮らしぶりをまとめたDVDを鑑賞し、家族から好評を得ている。ブログを開設し情報を発信するとともに、ホーム便りを発行している。	面会の少ない家族への意見、要望をくみ取る工夫について、話し合いを望む。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	話しやすい関係づくりスタッフの意見・想いをくみ取る環境づくりに努めております。東西ミーティング・個別ミーティングに積極的に参加し、意見や提案が反映できるよう取り組んでおります。	月1回の全体ミーティング、週1回のミーティングがあり、職員の意見や提案を述べる機会となっている。また管理者が職員の自主性を大切にしており、職員のやる気につながっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの体調や性格、家庭環境などを理解して各スタッフにあった条件で勤めていただけるようにしております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修に年2回以上参加していただき、日々の業務に生かせるよう、働きながら向上心を持つことができます。普段より職員間でコミュニケーションをとり、実情の把握にも努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人で毎月10日に施設長が集まり、勉強会を開催しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様及びご家族様の細やかな疑問や要望に応じていくため、良い雰囲気づくりに努めながら言葉や行動を観察しながら信頼関係を築けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前訪問など行い出来るだけご家族様の要望をお聞きし、出来る限りそえるよう努めております。その反面出来ないことについても、密に連絡をとりながらご理解いただける関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前訪問など行いご家族様・本人様の思いを受け入れるよう努め、傾聴に徹し真意に近づけるよう取り組んでおります。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	なじみの関係を築き、共同生活を営むうえで出来ることは積極的に取り組んでいただけるよう努め、よき協力者となる関係づくりに取り組んでおります。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会・運営推進会議などで、今までの生活環境・生活歴をお聞きしながら、ご本人とご家族様の関係に配慮したうえで、協力体制を築けるよう努めております。ご家族様は24時間面会可能で、家族の絆を大切にさせていただいております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人などが訪れた際にも、面会・外出の支援をさせていただいております。家事や仕事等今までの生活の延長となるよう取り組み、生きがいを感じていただけるよう努めさせていただいております。	ホームから在宅となった利用者や馴染みの電気屋の来所など、ホームや利用者との関係が薄れないよう支援している。また、ホームに出入りするパン屋等との新たな関係も築いている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ミーティングノートや申し送りノートなどで利用者様同士の関係を日々理解することに努めております。お席の配慮やスタッフを介して関係改善に努めるなど、トラブルを未然に防ぐことにも取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院などで退所された方にも、お見舞いに伺わせていただいております。また退所される方にも、今後について相談を頂く場合には、誠意をもって対応させていただいております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様が遠慮なくお話しできる雰囲気づくりに努め、ご本人の思いや意向にそえるよう取り組んでおります。	日々の関わりの中で個性や嗜好、こだわりなど利用者の気持ちや価値観など理解しようと努めている。掴んだ思いや意向、家族からの情報等は個別ノートに記載し、情報共有をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	他事業所との連携をはかり、生活歴・生活環境の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	初回アセスメント後も6か月に1度再アセスメントするなど経過の把握にも努めております。また申し送り、ミーティングなどで日々の状態の把握にも努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニットミーティングにて、スタッフより今の問題点や意見を持ちより、適時ケアプランの見直しをおこなっております。また来設時や家族会などを通してご意見をいただくことに努めております。	掴んだ情報はユニットミーティングで日々検討し、3ヶ月毎の計画の見直しに反映させている。また、家族参加のサービス担当者会議が行われ、より深い利用者支援に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様ごとの担当制による記録や考察をミーティング等で検討し、全スタッフで共有し実践しています。またそこでの意見を施設ケアマネと相談しながら介護計画にも反映してもらっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々で生まれるニーズに対して、恒に柔軟な姿勢で取り組めるよう社内研修などで学んでおります。そのうえで既存のサービスに囚われない自由な発想を持ち、そのアイデアがサービスの多機能化につながる取り組みをしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保・幼、小中高校への、交流会等の協力を要請。町内会長・民生児童委員の運営推進会議への参加要請。地域の資源回収への参加などに取り組んでおります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医、歯科医による月1回の往診を行い、特変があった場合には、ご家族の希望の病院を受診できるよう配慮させていただいております。提携医と情報を共有できるよう努めております。	月1回の提携医(内科)、2週間毎の訪問歯科の往診がある。専門医の受診は基本家族対応であるが、必要時には職員が対応している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医による月1回の往診時に、ご本人様の状態をお伝えし看護師よりの視点からお話を聞いて頂き、施設スタッフに伝えていただき今後のケアに生かさせていただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当のソーシャルワーカーに情報を伺い、長期入院になる場合は、退院時担当者会議を開いて頂き情報交換に努めています。退院後も特変があった場合は病院に連絡をとり、指示を仰ぐなどして対応させていただいております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化、終末期のありかたについて説明させていただいております。ご家族様・ご本人様が望まれている生活を送れるよう努めております。	利用者本人や家族の意向に沿えるよう、医師を交え話し合いを行っている。今後、勉強会や研修などで看取り等終末期の支援について理解を深めていく予定である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	普通救命Ⅰをスタッフで受講しました。また新しいスタッフにも受講を予定し、全員で理解するよう努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年1回昼夜及び火災・地震で消防署にお願いし訓練を実施しています。また毎月19日に防災訓練を施設スタッフ・お客様で行っております。	避難訓練は規定通り行われている。また、迅速な避難を身につける取組みとして月1回の避難訓練がある。館内放送がかかると非常口の看板を指し「緑のほうへ」と声掛けをし、避難を促している。	運営推進会議において地域の協力を依頼するのの一考である。備蓄についても具体的な整備を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の習慣を尊重し、誰もが生涯現役でいられるよう努めています。個々に関する話などは居室などで個別に対応させていただいております。	家族から様々な情報を得たり、日々接した事柄などで利用者を知り「利用者本位」で接している。また入浴やトイレ時には見守りの位置や視線等羞恥心に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	運営推進会議への参加や担当者会議などで気持ちを表明できるように努めさせていただいております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の希望を尊重し、その人らしい暮らし方をさせていただけるよう努めています。接骨院に行きたい。家族と外食したいなど、出来る範囲でご要望に沿えるように努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意見を尊重しながら、季節にあった服選びやほつれたものの直しなど支援させていただいております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	声掛けによりお手伝いをお願いするなど、お客様に役割を持っていただくように努めております。また個々の嗜好を考慮し調理法などで対応させていただいております。	食材業者の献立を職員、利用者と共に調理している。自立している利用者が多く、調理場面では役割がある。ケーキバイキングや駄菓子屋「たんぽぽ」等「食」の工夫がある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューは栄養バランスを考え外部にお願いしています。水分量・食事量についてはチェック表にて把握に努め、既往歴・脱水などから注意を払っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実践しております。月1回歯科医の往診があり、希望者には受診していただいております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	プライバシーに配慮しながら、排泄の状況を出るだけ把握することに努め、声掛けなどで自立を促す取り組みをしています。	自立が多いが全員の排泄チェック表をつけ、変化を見逃さないようにしている。羞恥心の強い利用者の失禁に対し同性職員のコマメな声掛けで改善した等、個々の状態に合わせている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の状況を把握し、その都度飲食物や運動により改善できるよう取り組んでおります。こまめな水分補給ができるよう、声掛けさせていただいております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご本人のご希望に沿えるよう努めております。ゆっくり入浴できるようお1人ずつ対応させていただきます。またご希望により、足浴・シャワー浴などで対応させていただいております。	毎日の入浴準備があり、基本的に2日毎に入浴をしている。入浴拒否の利用者に入浴剤(ピンク・グリーン・イエロー)を毎回色を代えて誘導したところ、入浴するようになった。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の生活習慣や状況に応じて、室温や部屋の明るさなどにも配慮させていただき、時間のしばりを設けず個々を尊重させていただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルや処方箋などで常に確認する習慣があり、飲み忘れの確認また症状の変化などを確認しながら支援させていただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴などからその方にあった役割を模索し提供できるよう努めております。犬の散歩・卓球・パチンコ・カラオケなど出来る限り個々の楽しみを支援させていただいております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人・ご家族の希望にて、外食会を予定しご家族様を含めた外出の支援にも取り組んでおります。また地域の接骨院・買い物・公園への散歩など、日常生活圏での外出の支援もさせていただいております。	外出はイベントではなく生活の一部と考え「晴れたら外に出る」を実践している。散歩や洗濯物干し、花の世話、ユニットごとの喫茶店利用や日用品の買い物等に出かけている。個別外出で利用者、家族、職員との食事会も行われている。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様の希望を尊重させていただいておりますが、ご利用者様によっては、所持金の把握をさせていただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ等ご本人様の希望で対応させていただいております。手紙についても投函等支援させていただいております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ自然の光を取り入れることに努めさせていただいております。昼間は窓を開けるなどさせていただいております。また共用部分については毎日掃除させていただくなかで、スタッフと共に取り組んで頂いております。	窓から地域の畑が望め、季節を感じられる。富士山や魚等の作品を脱衣所に飾り楽しさを演出している。中庭では洗濯を干したり犬と散歩している。リビングの一角には利用者の個別のアルバムが置いてあり来訪者が自由に閲覧できる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部分にはソファーや6角テーブル2台を配置させていただき、ご本人の希望を尊重した座席の提供をさせていただいております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはなるべくご本人の思い入れのあるものを自由に設置また配置させていただいております。過ごしやすい室温にも配慮させていただいております。	テレビ、冷蔵庫、机、人形等が持ち込まれているが、整理整頓された居室が多い。利用者が心地よく過ごせる居室づくりのために、ホームは家族に協力を依頼している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設全体が平屋になっており、バリアフリーである為、行動に制限がかけにくく、自立に向け支援しやすい環境になっております。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2392200370		
法人名	ステラリンク株式会社		
事業所名	グループホームたんぼぼ今伊勢		
所在地	愛知県一宮市今伊勢町新神戸字九反野18-1		
自己評価作成日	平成27年 3月 1日	評価結果市町村受理日	平成27年 7月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JkyosyoCd=2392200370-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&amp;JkyosyoCd=2392200370-00&amp;PrefCd=23&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社 中部評価センター		
所在地	愛知県名古屋市長区左京山104番地 加福ビル左京山1F		
訪問調査日	平成27年 3月20日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

人が輝くを理念とし、申し送り時には行動規範を復唱して、明るい雰囲気づくりに取り組んでおります。  
 また認知症を患っても住み慣れた土地で、地域の一員としての関係を断ち切ることなく、馴染みの関係を築けるようスタッフが支援しながら、介助者としてではなく共に生活を行うパートナーとしての関係づくりに努めています。  
 人生現役を目標とし、施設通貨シードを活用しながら人の役に立つ喜び、社会の一員として現役であるなど人としての尊厳についても力を入れて取り組んでおります。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	申し送り後に理念を復唱している。 新人スタッフにも行動規範カード等を渡し理念への思いを伝えている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会様にも参加していただくイベントの企画・実施。また町内の資源ごみ回収への参加させていただいております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議への地域の方々への参加要請。 当施設での認知症への取り組み、それを通じての理解を求めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて行事報告・事故報告、目標計画の達成度報告より地域の代表様・地域包括様よりご意見をいただきミーティングにて伝達させていただいております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を通して、地域包括様・民生児童委員様に参加していただき、活動報告を行い当施設での取り組みについて理解を求めながら、よりよい協力関係が築けるよう努めさせていただいております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束排除宣言し、掲示させていただいております。またすべてのお客様に対して誠意をもって対応し、身体拘束をしないケアを実践しております。今後は勉強会・研修会等に積極的に参加していきたいと思っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	地域包括高齢者虐待の研修会への参加から、スタッフミーティング等での全スタッフへの周知に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内外部の研修や勉強会へ参加し理解する機会を設けていきたいと思ひます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前には事前面接を行い、ご家族様が今後の入居者様の生活に対して、疑問・不安の把握に努めてご説明させていただいております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の来設時にもご意見・ご要望が言いやすい雰囲気作りに努めています。お客様感謝祭(家族会)でのアンケート調査。またご家族代表として運営推進会議にも参加して頂いております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	話しやすい関係づくりスタッフの意見・想いをくみ取る環境づくりに努めております。東西ミーティング・個別ミーティングに積極的に参加し、意見や提案が反映できるよう取り組んでおります。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの体調や性格、家庭環境などを理解して各スタッフにあった条件で働めていただけるようにしております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修に年2回以上参加していただき、日々の業務に生かせるよう、働きながら向上心を持つことができます。普段より職員間でコミュニケーションをとり、実情の把握にも努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人で毎月10日に施設長が集まり、勉強会を開催しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様及びご家族様の細やかな疑問や要望に応じていくため、良い雰囲気づくりに努めながら言葉や行動を観察しながら信頼関係を築けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前訪問など行い出来るだけご家族様の要望をお聞きし、出来る限りそえるよう努めております。その反面出来ないことについても、密に連絡をとりながらご理解いただける関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前訪問など行いご家族様・本人様の思いを受け入れるよう努め、傾聴に徹し真意に近づけるよう取り組んでおります。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	なじみの関係を築き、共同生活を営むうえで出来ることは積極的に取り組んでいただけるよう努め、よき協力者となる関係づくりに取り組んでおります。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会・運営推進会議などで、今までの生活環境・生活歴をお聞きしながら、ご本人とご家族様の関係に配慮したうえで、協力体制を築けるよう努めております。ご家族様は24時間面会可能で、家族の絆を大切にさせていただいております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人などが訪れた際にも、面会・外出の支援をさせていただいております。家事や仕事等これまでの生活の延長となるよう取り組み、生きがいを感じていただけるよう努めさせていただいております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ミーティングノートや申し送りノートなどで利用者様同士の関係を日々理解することに努めております。お席の配慮やスタッフを介して関係改善に努めるなど、トラブルを未然に防ぐことにも取り組んでおります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院などで退所された方にも、お見舞いに伺わせていただいております。また退所される方にも、今後について相談を頂く場合には、誠意をもって対応させていただいております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様が遠慮なくお話しできる雰囲気づくりに努め、ご本人の思いや意向にそえるよう取り組んでおります。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	他事業所との連携をはかり、生活歴・生活環境の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	初回アセスメント後も6か月に1度再アセスメントするなど経過の把握にも努めております。また申し送り、ミーティングなどで日々の状態の把握にも努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニットミーティングにて、スタッフより今の問題点や意見を持ちより、適時ケアプランの見直しをおこなっております。また来設時や家族会などを通してご意見をいただくことに努めております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者様ごとの担当制による記録や考察をミーティング等で検討し、全スタッフで共有し実践しています。またそこでの意見を施設ケアマネと相談しながら介護計画にも反映してもらっています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々で生まれるニーズに対して、恒に柔軟な姿勢で取り組めるよう社内研修などで学んでおります。そのうえで既存のサービスに囚われない自由な発想を持ち、そのアイデアがサービスの多機能化につながる取り組みをしています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保・幼、小中高校への、交流会等の協力を要請。町内会長・民生児童委員の運営推進会議への参加要請。地域の資源回収への参加などに取り組んでおります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医、歯科医による月1回の往診を行い、特変があった場合には、ご家族の希望の病院を受診できるよう配慮させていただいております。提携医と情報を共有できるよう努めております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医による月1回の往診時に、ご本人様の状態をお伝えし看護師よりの視点からお話を聞いて頂き、施設スタッフに伝えていただき今後のケアに生かさせていただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	担当のソーシャルワーカーに情報を伺い、長期入院になる場合は、退院時担当者会議を開いて頂き情報交換に努めています。退院後も特変があった場合は病院に連絡をとり、指示を仰ぐなどして対応させていただいております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化、終末期のありかたについて説明させていただいております。ご家族様・ご本人様が望まれている生活を送れるよう努めております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	普通救命Ⅰをスタッフで受講しました。また新しいスタッフにも受講を予定し、全員で理解するよう努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年1回昼夜及び火災・地震で消防署にお願いし訓練を実施しています。また毎月19日に防災訓練を施設スタッフ・お客様で行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の習慣を尊重し、誰もが生涯現役でいられるよう努めています。個々に関する話などは居室などで個別に対応させていただいております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	運営推進会議への参加や担当者会議などでお気持ちを表明できるように努めさせていただいております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の希望を尊重し、その人らしい暮らし方をさせていただけるよう努めています。接骨院に行きたい。家族と外食したいなど、出来る範囲でご要望に沿えるように努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意見を尊重しながら、季節にあった服選びやほつれたものの直しなど支援させていただいております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	声掛けによりお手伝いをお願いするなど、お客様に役割を持っていただくように努めております。また個々の嗜好を考慮し調理法などで対応させていただいております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューは栄養バランスを考え外部にお願いしています。水分量・食事量についてはチェック表にて把握に努め、既往歴・脱水などから注意を払っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実践しております。月1回歯科医の往診があり、希望者には受診していただいております。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	プライバシーに配慮しながら、排泄の状況を出るだけ把握することに努め、声掛けなどで自立を促す取り組みをしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の状況を把握し、その都度飲食物や運動により改善できるよう取り組んでおります。こまめな水分補給ができるよう、声掛けさせていただいております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご本人のご希望に沿えるよう努めております。ゆっくり入浴できるようお1人ずつ対応させていただいております。またご希望により、足浴・シャワー浴などで対応させていただいております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人1人の生活習慣や状況に応じて、室温や部屋の明るさなどにも配慮させていただき、時間のしばりを設けず個々を尊重させていただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルや処方箋などで常に確認する習慣があり、飲み忘れの確認また症状の変化などを確認しながら支援させていただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴などからその方にあつた役割を模索し提供できるよう努めております。犬の散歩・卓球・パチンコ・カラオケなど出来る限り個々の楽しみを支援させていただいております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人・ご家族の希望にて、外食会を予定しご家族様を含めた外出の支援にも取り組んでおります。また地域の接骨院・買い物・公園への散歩など、日常生活圏での外出の支援もさせていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様の希望を尊重させていただいておりますが、ご利用者様によっては、所持金の把握をさせていただいております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ等ご本人様の希望で対応させていただいております。手紙についても投函等支援させていただいております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ自然の光を取り入れることに努めさせていただいております。昼間は窓を開けるなどさせていただいております。また共用部分については毎日掃除させていただくなかで、スタッフと共に取り組んで頂いております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部分にはソファーや6角テーブル2台を配置させていただき、ご本人の希望を尊重した座席の提供をさせていただいております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはなるべくご本人の思い入れのあるものを自由に設置また配置させていただいております。過ごしやすい室温にも配慮させていただいております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設全体が平屋になっており、バリアフリーである為、行動に制限がかかりにくく、自立に向け支援しやすい環境になっております。		